



# はなのき通信

2025年2月 発行 第158号

編集・発行：あいち国際交流はなのき会

URL <http://www.aichinet.ne.jp/~hananoki/>

Eメール [hananoki@aichinet.ne.jp](mailto:hananoki@aichinet.ne.jp)

## 2025年度 総会のご案内

下記の予定で2025年度総会を開催いたします。1年に1回の会員が集う総会です。万障繰り合わせてご出席いただけますよう、今から予定に入れていただければ幸いです。

日時 2025年4月12日（土）午前10時30分～午後2時30分（午前10時受付開始）  
会場 穂の国豊橋芸術劇場プラット（豊橋駅直結）  
担当 東三河ブロック

### <講演&ワークショップ>

講師：花島紀秀氏

（特定非営利活動法人愛知県自閉症協会・つぼみの会副理事長、「デザインあや」スタッフ）

### スケジュール（予定）

10：30～ 総会、スタディーツアー報告会  
12：00～ ランチタイム交流会  
13：00～ 講演&ワークショップ

## スタディーツアー 報告

2024年10月11日（金）～13日（祝）の日程で、国内スタディーツアーを実施しました。ツアー行程は、岩手県の南三陸地方を回るプランでした。愛知県各地域から、JR新幹線、あるいは飛行機で盛岡に集合。初日は、盛岡駅の隣にある岩手県国際交流協会を視察し、翌日から宮古→大槌→大船渡→陸前高田を回りました。ツアーでは、語り部として震災当時のようすを話してくださる方々、大槌町、陸前高田などで復興に取り組んでいるキーパーソンの方々など、訪れた先々で、思いのこもったお話をたくさん聞きました。詳しくは、活動報告書にて報告します。お楽しみに。（伊藤静香）



## セミナー報告

### セミナーⅡ 「男女共同参画社会の実現に向けて」

【日時】 2024年7月14日(日)14:00~16:00

【会場】 ウィルあいち愛知県女性総合センターセミナールーム

【参加人数】 61名

【講師】 加藤尚巳氏

(愛知県男女共同参画室 女性の活躍促進監)



当日は、ウィルあいちの展示室において「ベアテ・シロタ・ゴードン展」が同時に開催されました。会場の向かい側にある名古屋市市政資料館では、NHK朝の連続ドラマ「虎に翼」(日本初の女性家庭裁判所長三淵嘉子氏がモデル)の展示が行われており、参加者にとってもタイムリーな機会となりました。

私たちは今日まで男女共同参画社会の実現に向けて活動を進めてきましたが、現状はどのように変化しているかを加藤氏にお話しいただき、今後の活動の一助になりました。加藤氏は、固定的な性別役割分担意識が今もなお残っており、特に女性を取り巻く地位・環境改善に課題が残ること、就業する女性は増加傾向にあるが活躍できる環境が不十分であり女性管理職の割合が低い状態にあることを指摘し、少子高齢化の進展の中で労働力の確保・労働生産性の向上のためにも健康支援は必要不可欠であり、これらが持続可能な形で自らの理想とする生き方と仕事の両立を可能にする要素になり得ると締めくくられました。

(高田 朝子)

### セミナーⅢ 「ビール醸造を通じた地域おこし」・・・田舎をあきらめない！

【日時】 2024年11月30日(土)14:00~16:00

【会場】 JICA 中部なごや地球広場(セミナールームA)

【参加人数】 62名(はなのき23名)

【講師】 東恵理子さん(2013年度3次隊バングラディッシュ・コミュニティ開発)



日本に帰国後の東さんの地域貢献の活動について講演。会場の参加者みなぎ引き込まれる内容であった。

事例もさることながら、私は、東さんの「アイデンティティの崩壊」について、大変関心をもった。自分のアイデンティティを探る作業をしたからこそ、地元カマドのアイデンティティに気がつけたのだと思った。(報告：向井あつこ)

## ブロック・部会の活動

### 名古屋ブロック 杉原千畝ツアー

2024年6月28日 参加者31名

杉原千畝の出身校である愛知県立瑞陵高等学校の門前には、“センポ、スギハラ、チウネメモリアル広場”が出迎えてくれる。偉大な業績を築いた千畝氏の石像はリトアニアで“命のビザ”を千畝に書いて貰ったニシュリと言う人との28年ぶりの再会場面が表現されていた。



生誕100周年（西暦2000年）を記念して創設した“杉原千畝記念館”では、どの写真も戦争の悲惨さを物語っていた。過去の戦争の歴史を学び、紛争下にある国へ貢献出来る道をはなのき会でも模索していると感じている。

（名古屋ブロック 豊留涼子）

### 西三河ブロック

#### 「インドに『アーユルベータ』の施術のために渡航」 八木喜代子

アーユルベータとは、インド大陸の伝統的医学で世界三大医学として発展したもの。トリ・ドーシャと呼ばれる3要素のバランスが崩れると病気になると考えられる理論である。その施術のために渡り、快適なアーユルベータ食事治療の病院生活の話を紹介した。他にアラバルビザ（最長30日間滞在できる）の話も。

#### 「エジプトの世界遺産と現状」 小鹿登美

エジプトの数多い世界遺産の紹介と同時に、外貨が不足しているエジプトの現状（信号がない！車がボコボコ、廃墟的な住宅街等々）を話した。困窮した経済と地方の貧しさ等や、教育を受けていない子ども達が心配でもある。世界遺産の修復は日本にも期待されている。



### 伝統文化研究会

#### <万華鏡を作る>

9月21日（土）国際プラザ1階 参加者9名

日本伝統文化研究会のメンバーがそろい、講師の前田さん（尾張ブロック会員）の指導の下に万華鏡づくりを楽しみました。万華鏡の美しい模様には同じ眺めはありません。自然の形状に面白いと思いました。キャップの中身を変えてご自分が持っている指輪、ピアスなど光る物をいれると面白い色彩になります。

作成後は参加者のみなさんとお茶とお菓子で会員相互の親睦を深めました。

（波多野美津子）

## ネットワークの活動

はなのき会は、愛知県地域実践活動交流協議会の参加団体、愛知県国際交流協会の賛助会員であります。関連する団体の主催事業に協力、参加しています。

この秋に参加した事業についてご報告します。

### 「第 43 回高齢社会をよくなる女性の会全国大会 in とよた」

10月26、27日に豊田産業文化センターにて「第43回高齢社会をよくなる女性の会全国大会 in とよた」が開催されました。愛知県女性地域実践活動交流協議会のやはぎ会が実行委員を務めたご縁から、はなのき会からも多くの会員が参加されました。

基調講演では「おひとりさまの老後が危ない」というテーマで上野千鶴子さんが登壇され、介護保険が改悪に進み危機的状況にあることを指摘。このまま安心してはいられない、「今声をあげなければ！」と実感しました。



2日目、私は第1分科会「人生100年時代 本物の幸齢者になりませんか？」に参加。エンディングノートではなく『私の生き方連絡ノート』でこれからの人生をどう生きるのか考えました。さらに分科会参加者みんなで「岡崎ごまんぞく体操」の体験をしました。人生100年時代とはいえ、元気で、楽しく生きるためには、まだまだやるものがたくさんありそうです。  
(報告 伊藤静香)

### 愛知県国際交流協会設立 40 周年記念式典

愛知県国際交流協会設立 40 周年記念式典が愛知芸術文化センターで 11 月 13 日に行われ、賛助会員であるはなのき会も参列しました。式典は神田真秋会長の挨拶から始まり、来賓の大村知事からは日ごろの活動への感謝と激励がありました。

県内 6 団体が表彰され、その後は名古屋西川流師範の西川カークさんから、愛知の多文化共生についてのお話がありました。日本生まれ日本育ちのカークさんは日本語もお上手ですが、自身のアイデンティティはアメリカ人と認識しているそう。講演の合間には日本舞踊による健康体操もあり、会場は終始和やかな雰囲気になっていました。

(代理出席・山根みちよ)

## 新人のご紹介

名古屋ブロックに新しいお仲間が入会されました。

大西 妙子 さん

## 伊藤久代さんを偲んで

2024年11月5日に伊藤久代さんがご逝去されました。突然の旅立ちに驚き、哀しむ会員の方々も多くいらっしゃるでしょう。生前、久代さんとご縁のあった方々に、追悼を寄せていただきました。

### 鄙にも稀なる女性

金田 文子

久代様のご逝去で多数の方が喪失感を抱いておられるでしょう。町議会議員、国際交流活動、東栄町女性の地域活動などにおいて常に先頭に立ち、人々の潤滑油となり、地域女性の潜在力を引き出し高めてこられました。私には、はなのき会のスタディーツアー（カンボジア）の企画や会長職を振ってくださり、得難い経験と学びの機会を有難く思います。貴女は、鄙にも稀なるの形容がぴったりの生き様を見せてくださいました。深謝

### 伊藤 久代さんを偲んで

深谷 雅子

突然の訃報にびっくりして、悲しんでいます。

昭和62年度愛知県女性海外派遣団・タイ班のメンバーとして出会いました。それから37年の長いお付き合いです。私たちはタイの子供たちの教育に関心を持ったグループとして活動しました。

久代さんは地元の昔話に興味を持ち、「話のゆりかご」を纏めて出版されました。東栄町の昔ばなしがいっぱい、その本を地元の子供たちに読み聞かせをしていました。

また、東栄町では町議会の議員を16年続けられました。その他にも国際交流はなのき会会長も勤められ忙しく活動していました。2023年の4月9日のはなのき会の総会には東海市まで来てくださった。そうそう、私の家に泊まってはなのきの会議に参加したこともありました。東栄町へ私達がアユを食べに行ったこともあります。

今年の6月23日には稲沢の三輪さん宅を訪問しました。

その時の写真➡



起こせば、走馬灯のようにあれこれ思い出します。久代さんのお人柄が偲ばれます。どこでも打ち解けて馴染んでいける素晴らしい気質の方でした。仲良くしていただいてありがとう！！ご冥福をお祈りいたします。 合掌

## 伊藤久代さんの思い出

永田 久枝

私は 39 歳の時に愛知県女性海外派遣事業に応募してタイに派遣されました。その時の 1 歳上の久代さんと一緒でした。2 人共に会長だった八木喜代子さんに「あなたは帰ってきたら国際交流に貢献しますか」と言われ「はい。」と答えました。タイに行ってから、伊藤さんは派遣団の交流を大切にしてくれました。

三輪さん、深谷さんと 3 人で、東栄町の自宅に呼んでくださり 1 泊しました。4 人で地域での国際交流についての話が盛り上がりました。私は生まれて初めてのイノシシ鍋体験をして、イノシシの様に国際交流に貢献しようと久代さんと話し合いました。それから、久代さんはタイに行ったりして、東栄町に国際交流教会を立ち上げる準備を始めました。私も知立国際交流協会の会員になりました。彼女はその後、地道な活動をして、56 歳の時、町会議員に立候補しました。タイ班の仲間有志で応援に行きました。見事当選して、東栄町国際交流協会を立ち上げました。わたしも同じ年に知立市国際交流教会の副会長になり、親善ボランティアを立ち上げました。その後、知立市親善ボランティアの会員 10 名と東栄町に 1 泊して交流会を持ちました。東栄町国際交流協会の方々との交流は久代さんと私にとっては、八木会長との約束を果たしたうれしいひと時でした。

また、フランスにいる娘が東栄町で“キッシュの作り方とフランスの話”の講演会を持ちました。

不思議なご縁で夫が愛大に勤めている時に、学生たちが東栄町の子供との交流がありました。私も伊藤さんに会いました。東栄町のいろいろな友達を紹介してくれました。人々との交流ができ、よい経験になりました。彼女は東栄町の議員を 16 年（4 期）務め、やっと暇になり、はなのき会の副会長と一緒にしました。それから、はなのき会の会長になり、40 周年記念を成功裏に導きました。

6 月には 5 人で稲沢で会いました。その時も元気で“またね、”と言っていたのに久代さんが逝ってしまったのは信じられません。久代さん、あなたは母、妻、議員、国際交流協会会長、保護司 すべてのことを完全にこなしましたね。すごい一言です。天国でのんびりして見えることでしょう。

一緒に国際交流に邁進してくれてありがとう ♡ ♡

あなたに会えてとても幸せでした。



## 編集後記

今年度 2 回目のはなのき通信を発行することができました。

原稿などを寄せてくださったみなさま、ご協力ありがとうございました。

お読みいただいた感想など、お寄せいただければ幸いです。

書記一同